

外国人留学生のキャリア支援拡充に向けた学際的研究

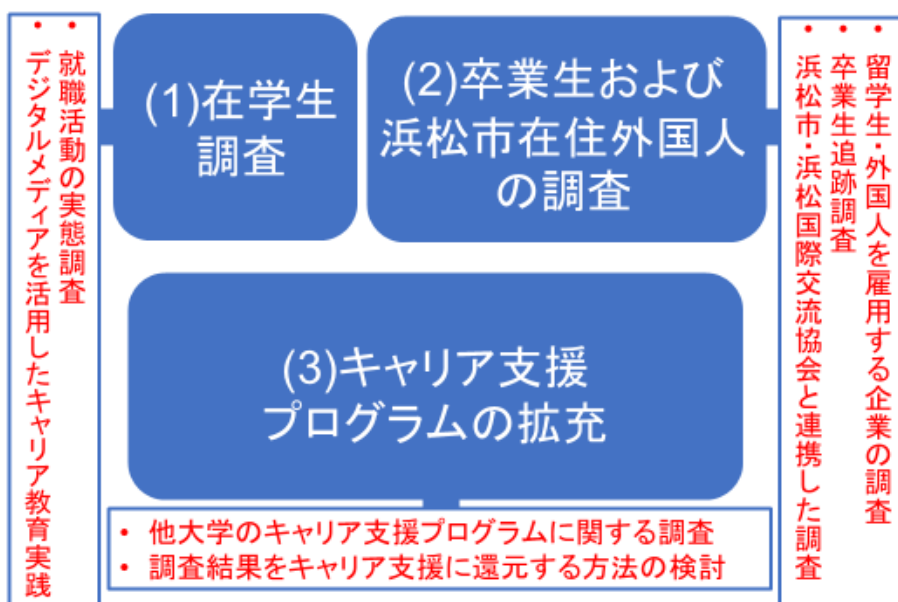
藤岡伸明, 竹内勇剛, 大島純, 山本祐輔, 李皓

● 研究背景と目的

日本では「留学生30万人計画」(2008年)以降, 外国人留学生が増加・多様化したため, 就職支援の拡充が喫緊の課題となっている。本学も2008~2020年の間に留学生が約200人増加し(268人→463人), 東南アジア出身者の割合が高まるといった急激な変化があったため, 就職支援の拡充が急務である。こうした状況を背景に, 本学の留学生, 浜松市の企業, 浜松市で就労する外国人などを対象とする調査を実施し, 実態把握を試みるのが本プロジェクトの主要な目的である。また, 留学生や外国人を対象とする新たなキャリア教育実践を試行したり, 学外の組織と連携して留学生や外国人を調査・支援する体制を構築することも本プロジェクトの目的である。

● 研究内容

■ 概要



■ 主な成果

- デジタルメディアを活用したキャリア教育実践(デジタルストーリーテリングワークショップ)を開始したことにより, 本学の留学生向けキャリア支援に新たな選択肢を追加した。
- 留学生全体が直面しがちな困難(新卒採用制度に対する理解の不足)および文系/理系によって異なる就職活動成功の条件(文系は日本人とほぼ同等の日本語力が必要, 理系は日本語力の要求が低い代わりに専門知識・技術が求められるなど)を明らかにした。
- 浜松市・浜松国際文化交流協会・市内企業が連携しつつ進めている留学生・外国人受け入れ体制強化の現状と課題を明らかにした(ホワイト企業認証制度の開始, 企業内日本語教育の拡充, インターンシップ受け入れ企業の増加など)
- 一連の調査・研究を通じて, 本学教員と浜松市国際課および浜松国際文化交流協会との連携が強化された。
- 上述の研究成果を国際社会学会, 日本社会学会, 浜松市シンポジウム等で発表した。

● 今後の展開

デジタルストーリーテリングワークショップの開催頻度を増やし, 効果の測定とワークショップの改善を進める。本学を卒業した留学生の追跡調査を数年ごとに実施し, 卒業生のキャリア実態を継続的に把握し, 本学のキャリア支援を継続的に拡充・発展させる。浜松市・浜松国際文化交流協会との連携をさらに強化し, 調査・実践を充実させる。